

### 第3回（仮称）草津市立プール整備基本計画検討懇話会における 主な意見と市の考え方について

○は懇話会での意見・対応  
→は懇話会後の事務局対応

主な意見	市の考え方
<b>【資料2（仮称）草津市立プール整備基本計画（骨子案）】</b>	
● プールの駐車場スペースについて、どの程度の規模でお考えか。	○ 駐車場については、日水連の基準を拠り所に200台程度を想定しています。
● プールの水深は3mでお願いしたい。全面が無理なら、半面でもお願いしたい。	→（仮称）草津市立プールの将来的な利活用の可能性を踏まえ3mでの整備を計画します。
● 観客席の常設は何席想定されているか。	→ 観客席数2,500席のうち、常設、仮設の席数割合については、今後、動線等を考慮した配置計画の具体化と並行して、最適な配分を決定していきます。
● 選手召集やストレッチする場所は広いスペースが必要ですが、どこに設定されているか。	→ 他事例等も参考としながら、今後、動線等を考慮した配置計画等の具体化のなかで決定していきます。
● 健康拠点機能において、健康に関する情報発信、相談・活動交流機能を備えることあるが、今後の検討事項ということで良いか。	○ 運営を担う民間事業者等と地域が求める健康づくりに参加する視点は必ずしも同じではないことから、「健幸都市宣言」の取組として、地域やまちの健幸という視点からも、市の福祉部局や滋賀県、周辺施設の運営者との連携による情報発信をしていきたいと考えています。
● 身体障害者の水泳大会時の混雑を考慮するとエレベーターの台数が足りず大渋滞が起きているので、台数、大きさについて検討していただきたい。トイレの動線、数も混雑するため、検討いただきたい。	→ 第24回全国障害者スポーツ大会の会場としても利用されるため、限られた費用や施設整備面積等の中で、大会後も障害者の方のスポーツ振興に寄与できる機能を備えられるよう検討していきます。
● プールの出入口が道路側だと駅から遠くなる。動線をどう考えているのか。	○ 駅からのアクセスについては、近隣住民の生活用道路の通行を避ける必要があると考えている。
● プール諸室については多目的に使用できるようにしていただきたい。	○ 他の施設においても、諸室名を定めながらも、大会時と通常時で多目的に転用されながら運用されている事例もあるので、参考にしながら柔軟に対応したいと考えています。
● 仮設観客席の設置場所、動線、出入口について検討していただきたい。	→ 他事例等も参考としながら、今後、動線等を考慮した配置計画等の具体化のなかで決定していきます。
● サウナルーム、ジャグジーを設置するのはどうか。	→ 一般利用に供されるようなサウナについての設置は想定しておりません。施設利用にあたって、体温調整を行うためのジャグジーについては、必要に応じた形での設置を検討していきます。

主な意見	市の考え方
● 多目的トイレはいろいろな方が使われるため、一般のトイレやシャワー室も身体障害者が利用できるように工夫をしてほしい。	→ 第24回全国障害者スポーツ大会の会場としても利用されるため、限られた費用や施設整備面積等の中で、大会後も障害者の方のスポーツ振興に寄与できる機能を備えられるよう検討していきます。

主な意見	市の考え方
<b>【資料3 事業手法別の特徴整理について】</b>	
● 競技団体としては早くオープンして欲しい。	○ 可能な限り、早期のオープンに向けて取り組んでまいります。
● 地方財政を考慮するとPFIの導入を考えてほしい。	→ コスト削減効果が期待できることや民間活力を活用した効率的、効果的な運営が期待できることから、PFI方式を採用して事業を進めてまいります。
<b>【その他】</b>	
● 防災拠点としてのプール施設の有効利用、新エネルギーを見据えた計画を考えてほしい。	→ 御意見を踏まえて、可能な範囲で施設整備への反映を検討していきます。
● プール施設周辺、駅からの動線を含めてトイレを整備してほしい。	○ 地域の意見も聞きながら検討していきます。

主な意見	市の考え方
<b>【意見交換】</b>	
● 現在は、自分の健康のためにプールに行っている人は少ないが、今後計画が具体化していくと、皆さんに関心を持っていただけると思う。	→ 新プールは、国スポの水泳競技会場としてだけでなく、大会後も多くの方が水泳を通して、健康増進や体力向上、心身のリフレッシュが図ることができる施設となるよう整備・運営を行います。
● プールは、着替えないといけないというのがハードルだが、プールができたなら行こうという意識は皆さんあると思う。国スポ開催後も市民の方が楽しんでいただけるようなプールとしていただきたい。	
● 草津市にプールができれば、世界マスターズ開催の機会も作っていただきたい。	→ 国内の大規模大会の開催が可能となる機能の整備を検討しております。今後、費用対効果等を検証しながら、施設の規模や機能を決定します。
● 予算があれば各専用のものをすべて作れば良いが、それはできないと思うので、うまく各々妥協をしながら設計を考えていただきたい。	
● プールの建設後には、競技大会と一般利用がバッティングする部分が必ず出てくるので、どのように運用していくかもしっかり考えていくことが重要である。	→ 競技大会に限らず、一般の方にも利用していただけるよう、運用についても検討します。